



2020年5月29日

各 位

会 社 名 マックスバリュ西日本株式会社  
代 表 者 名 代表取締役社長 平尾 健一  
(コード番号：8287 東証第2部)  
問 合 せ 先 取締役管理担当 伊渡村 直樹  
電 話 番 号 082-535-8500

### 支配株主等に関する事項について

#### 1. 親会社、支配株主（親会社等を除く。）またはその他の関係会社の商号等

(2020年2月29日現在)

名称	属性	議決権所有割合 (%)			発行する株券が上場されて いる金融商品取引所等
		直接所有分	合算対象分	計	
イオン株式会社	親会社	72.01	2.15	74.16	株式会社東京証券取引所 市場第一部

#### 2. 親会社等の企業グループにおける上場会社の位置付けその他の上場会社と親会社等との関係

当社グループは、イオン株式会社（純粋持株会社）及び、同社の連結子会社・持分法適用関連会社により構成する企業グループに属しております。イオン株式会社が、グループ戦略の立案、グループ経営資源の最適配分、経営理念・基本原則の浸透と統制、共通サービスの提供等を担い、グループシナジーの最大化を図る一方で、当社グループを含めたグループ各社は、専門性を高め、地域に密着した経営を行うことで、より一層のお客さま満足の上昇を図っております。

当社グループの属する企業グループは、8兆円を超える売上規模を活かし、グループでの共同調達や効率的なサプライチェーンの構築に取り組み、コスト低減を進め、イオンのブランド「トップバリュ」の開発や、メーカーや国内外の産地との直取引を拡大し、お客さまにとって価値ある商品の開発と魅力的な価格の実現に努めております。

当社グループは、日常の事業運営にあたっては、独自の経営判断に基づき遂行しつつ、事業運営における重要な問題については、よりよい効果または結果を導き出すべく、イオン株式会社との協議、もしくはイオン株式会社への報告を行っております。イオン株式会社ならびにグループ企業とは、相互に自主・独立性を十分に尊重しつつ綿密な連携を保ちながら、持続的な成長、発展、業績の向上に努めております。

なお、2020年5月29日現在、当社取締役8名及び監査役4名のうち、2名が親会社及びそのグループ企業で兼務しております。また、2020年2月29日現在、親会社及びグループ企業より167名の社員を受け入れております。

役員の兼務状況 (2020年5月29日現在)

役職	氏名	親会社等又はそのグループ企業での役職	就任理由
非常勤監査役	伊藤 三知夫	・イオン九州株式会社 監査役 ・イオンストア九州株式会社 監査役	親会社での職務経験、親会社の関連会社での役員経験が監査に有益なため
非常勤監査役	北村 智宏	・イオン株式会社 SM・商品物流担当付 ・株式会社光洋 監査役	親会社での職務経験、親会社の関連会社での役員経験が監査に有益なため

出向者の受入れ状況 (2020年2月29日現在)

部署名	人数	出向元の親会社等又はそのグループ企業名	出向受入れ理由
マックスバリュ西日本株式会社			
マックスバリュ営業本部	18名	株式会社ダイエー 株式会社レッドキャベツ	業務体制を強化するため
ザ・ビッグ営業統括部	44名	株式会社ダイエー 株式会社レッドキャベツ イオン琉球株式会社	業務体制を強化するため
人事総務本部	5名	株式会社ダイエー	業務体制を強化するため
株式会社マルナカ			
営業本部	30名	イオンリテール株式会社 株式会社ダイエー	業務体制を強化するため
商品本部	10名	イオンリテール株式会社 株式会社ダイエー イオンベーカリー株式会社	業務体制を強化するため
管理本部	6名	イオンリテール株式会社 株式会社ダイエー	業務体制を強化するため
開発本部	4名	イオンリテール株式会社 株式会社ダイエー	業務体制を強化するため
株式会社山陽マルナカ			
営業本部	34名	株式会社ダイエー 株式会社未来屋書店	業務体制を強化するため
商品本部	7名	イオンリテール株式会社 株式会社ダイエー	業務体制を強化するため
経営管理本部	7名	イオンリテール株式会社 株式会社ダイエー	業務体制を強化するため
営業企画本部	1名	株式会社ダイエー	業務体制を強化するため
開発本部	1名	イオンリテール株式会社	業務体制を強化するため

(注) 2020年2月29日現在の当社グループの従業員数は5,304名であります。

### 3. 親会社等との取引に関する事項

2020年2月期（2019年3月1日～2020年2月29日）

種類	会社の名称	所在地	資本金又は出資金 (百万円)	事業の内容	議決権等の所有 (被所有) 割合 (%)	関連当事者との関係	取引の内容	取引金額 (百万円)	科目	期末残高 (百万円)
親会社	イオン株式会社	千葉市 美浜区	220,007	純粋持株会社	(被所有) 直接 72.01 間接 2.15	消費 寄託契約	資金の 寄託運用 (注1) (注2)	5,000	関係会社 預け金	5,000
						株式交換	株式交換 (注3)	53,656	—	—

取引条件及び取引条件の決定方針等

(注) 1. イオングループ内で効率的な運用を行うため、イオン(株)に対して資金の寄託運用を行っております。

2. 資金の寄託運用における利率は、市場金利を勘案して合理的に決定しております。

3. 株式交換については、株式会社マルナカ及び株式会社山陽マルナカの完全子会社化を目的としたものであり、株式交換比率は、第三者機関の算定結果を参考に、当事者間での協議によって決定しております。

### 4. 親会社等との取引等を行う際における少数株主の保護の方策の履行状況

当社グループの親会社であるイオン株式会社及び同社グループ各社との取引に関しては、少数株主保護の方策に関する指針に基づき、同社グループの総合力強化を意識しながら、当社グループの事業活動に必要な財・サービスなどの取引が同社グループ内において可能な場合は、一般の市場取引と同様に交渉の上、決定しております。

また、同社及び同社グループ内の各社と取引を行う際には、当社の企業価値向上、当社株主全体の利益の最大化を図るべく決定することとしております。

以上